

生成AIでつなぐ姫路城発・播磨観光経済活性化

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 姫路市は、姫路城を中心とした豊富な歴史資源を有し、年間400万人以上の旅行者が訪れる観光都市である。
- ・ しかし、観光案内所における観光案内・ガイド業務等が属人的であり、限られたスタッフで国内外から訪れる旅行者の多様なニーズに対応することに難しさを感じている。
- ・ 本事業では、生成AIを活用した多言語対応の観光レコメンドシステムを導入し、観光案内所のスタッフが窓口で観光案内、旅程提案等を行う際の補助を行うとともに、過去の対応を蓄積することで、観光案内所の業務効率化と品質向上を図る。
- ・ 実証を通じて、旅行者一人ひとりの趣味・嗜好に応じたパーソナライズされた観光体験を提供できる環境を整備し、観光案内の付加価値向上を通じた、姫路市全体における周遊促進や消費拡大に取り組み、地域経済の持続的な活性化を目指す。

事業概要

姫路市では、観光案内所における業務の属人化やそれに伴う生産性の低さが課題となっている。これらに対し、生成AIを活用した観光案内所のスタッフ向けの観光レコメンドシステムを導入し、多言語での観光案内・ガイドの実施や、旅行者の趣味・嗜好に基づいた旅程提案等を行うことで、観光案内所における業務の効率化と品質向上による旅行者の体験価値の向上に取り組み、持続可能な観光振興モデルの構築を目指す。

取組地域：兵庫県姫路市等

コンソーシアム名：姫路観光活性化コンソーシアム

代表事業者：公益社団法人姫路観光コンベンションビューロー

実証内容

1. 生成AIを活用した観光案内所スタッフ向け観光レコメンドシステムの構築
2. 観光レコメンドシステム活用による観光案内・ガイド業務の効率化と品質向上

目標値

KGI 観光案内所における対応人数の増加(164人⇒180人/日)

KPI 観光案内所スタッフによる観光レコメンドシステムの利用件数(300件/月)

